

G. FAURE REQUIEM

David Hill 版 (Vn Vc Hrp Organ によるアンサンブル)

Consort Ars Nova in 高槻

2026年4月5日(日)

入場料 2000円

14時開演(13時30分開場)

高槻城公園芸術文化劇場 北館中ホール

邦人作品集

鳥が(新実徳英) 秋の女よ(大中恩) 夕焼け(信長貴富)
ミュージカルファンタジー Jesus Christ Superstar (L. Webber)

Con 富岡 健 Sop 吉岡仁美 Bari 松澤政也
Vn 長谷川真弓 Vc 渡邊正和 Harp 佐々木千恵
Piano/Organ 井上なおみ / 鈴木愛子

主催 Consort Ars Nova

連絡先 岡 清和
090-8378-3886
oka19640610@gmail.com



後援 京都府合唱連盟

Bob Chilcott氏とDavid Hill氏の繋がりについて

24年の私たちのリサイタルではBob Chilcott氏のアンサンブル版レクイエムを演奏いたしました。そして今回はDavid Hill氏によるLondonのNovello社から出版されたばかりの新オーケストレーションによるFaure Requiemを、第一線でご活躍の素晴らしい協演者の方々のお力を得て発信いたします。

Bob Chilcottは1955年生まれ、David Hillは1957年生まれ（以下同様に敬称略）。二人はいずれも少年時代にケンブリッジ大学のカレッジ聖歌隊員として在籍し、英国合唱の核心とも言える環境のなかで、その伝統を内側から学ばれました。そこで培われた合唱文化を、単に受け継ぐだけでなく「外部」へと開いてきた点に、両者の重要な共通項を見ることができます。Chilcottは作曲家として、Hillは指揮者として、それぞれ異なる道を歩まれますが、いずれも「合唱とは共同体であり、祈りであり、生きた芸術である」という理念を、現代に息づかせる役割を担ってきたと言えるでしょう。そのようなお二人の働きに思いを寄せながら臨んだ前回そして今回の連続的な演奏体験は、私たちConsort Ars Novaにとってきわめて実り豊かで貴重なものとなりました。

David HillによるFaure Requiemは「透き通った音色」「細やかな対位法の響きを際立たせた編成」として、出版と同時に高い評価を得ています。ヴァイオリンとチェロのデュオ、ハープ、オルガンを加えた斬新なオーケストレーションは、フォーレ本来の室内乐的な質感を損なうことなく「作品の精神性や宗教的な静謐さを尊重したアプローチ」「室内乐的編成が作品の内面的な美しさをいっそう浮かび上がらせる」と評されています。Hillはこの新版の発表に際し「この素晴らしい作品が、より広く教会や礼拝の場でも用いられることを願った」と語っています。

前回のChilcottの作品に続き、イギリスから発せられる「合唱音楽の発展のために」というエネルギーを私たちの演奏から感じ取っていただければ幸いです。（富岡健）



Music Director
富岡 健



Soprano
吉岡仁美



Violin
長谷川真弓



Baritone
松澤政也



Cello
渡邊正和



Piano/Keyboard
井上なおみ



Harp
佐々木千恵



Piano/Keyboard
鈴木愛子

Special Thanks

ラシーヌ雅歌オーケストレーション：長谷川智子
ピアニスト：草野和美 舞台監督：衣川建二

Consort Ars Nova (CAN)



「一万人の第九」富岡クラスの有志により、1999年に合唱団 大阪コンソートとして発足しました。2025年に団名をConsort Ars Novaと改称し、現在に至っています。2011年には、池長潤（前）カトリック大司教様より「祈りに満ちた音楽」とのお言葉とともに感謝状をいただきました。2014年は、女声部が全国大会に大阪代表として選出、男声部が関西合唱連盟名誉会長賞授与などW受賞の年となりました。2019年には、グノー・聖チェチリアミサのFarrington版を日本初演。現在、次回演奏会に向けて新しい仲間を募っています。練習場はJR大阪環状線・京橋駅より徒歩3分。どうぞお気軽にご見学ください。詳細はQRコードからHPへお進みください。

